



# 図書館だより

第4号 7月 20日号  
夏休み前特別号 保存版



学校図書館は、読書センターであるとともに皆さんの学習センターでもあります。夏休みを前に図書館の資料の探し方について、もう一度お知らせします。総合学習の資料収集等で是非活用して下さい。

高校時代だけでなく、大学等へ進学してから、また社会人になってからも図書館は皆さんの身近に必ずあるはず。図書館の利用方法を身につけてどこへ行っても上手に活用できるようにしておきたいですね。

## \* 自分の意見をまとめるために

総合学習の時間を皆さんは有効に活用できているでしょうか？皆さんにとって、総合学習は学問ということの本来の姿に向き合うよい機会のはずです。

学生の頃、先生方から口を酸っぱくしていわれたことは「必ず一次資料を見なさい」ということでした。「一次資料」とは簡単にいうと「原典」「最初に書かれた文献」ということです。論文を書いたり、自分の意見を文章化するとき過去の論文を参考にしますが、そこに書かれた文章を鵜呑みにしたり、引用されている文章をそのまま写したりすることは「決してやってはいけない」とことだと戒められました。現在、ネットを検索すればたいはいのことはわかります。



何件かヒットした検索結果をまとめて、さも自分の意見のようにまとめる学生が増えていくそうです。そうした論文は体裁は整っていても底が浅く、口頭試問を突破していくことはできません。

高校時代からたくさんの文章・原典にふれ、幅広い知識を蓄積し、自分の意見をまとめられるようにしましょう。

## \* 将来について考える

「**新書の本棚の中に君たちの未来はある!**」そんな言葉をもらったことがあります。新書やブックレットの棚の中で気になる本を何冊か手に取ってみましょう。あなたの興味関心がどこにあるのか、あなたの学びたいことは何なのか。きっとあなたの未来は「**新書の本棚の中**」にあります。

今その分野で「何が話題なのか、問題になっているのか」を知ることはとても重要です。現代の社会は様々な問題が複雑に絡み合い、私たちは意識しなくてもその問題に必ずどこかで関わっています。知的好奇心のアンテナを高く持つにこしたことはありません。

昨年度の入試小論文は八割が課題文型（課題文の内容をまとめる・内容について受験生の意見を求める・内容に関する設問に文章で答える）でした。テーマとしては、

- \* 様々な分野（経済・貧困・教育・文化・医療福祉・環境など）における「格差（社会）」
- \* 「SDGsに關して」志望学科として貢献できることは何か
- \* 「母語を日本語としない人に対する教育」共生・交流のあり方
- \* 「コロナ禍」における諸問題（政治・経済・教育・社会・医療・福祉・心のケア）
- \* 「AI時代」の人間・医療・福祉・社会・経済のあり方
- \* 「環境・生態系の諸問題について」



どうでしょう？多少なりとも答えることができそうですか？

入試問題は様々なテーマが、それぞれの学部にあった切り口で出題されます。出典が同じ文章が（例『知の体力』永田和宏 新潮新書）複数の大学・学部で出題される場合もあるのです。一見学部内容に直結していないように見えても、必ず関連があるということです。

いずれにせよ付け焼き刃で答えられないことは確かでしょう。経験に基づいた発言は説得力があります。すべてのことが経験できなくても書籍を通して得た知識は、経験を補ってくれるはず。すべ

「今、何が問題になっているのか。」を大まかに知るためには『日本の論点』などが毎年出版されています。また、国語便覧には、読んでおきたい代表的な評論がまとめて載っています。過去の入試問題の出典を調べてみるのもいいでしょう。それぞれを参考に知識の収集蓄積に努めたいですね。



## 夏休みに取り組もう

### 【読書感想文】

- 対象者・・・1. 2年生全員提出（3年生は希望者のみ）
- 対象書籍・・・漫画・雑誌・絵本・教科書に全文掲載されているもの以外
- 形式・・・A4サイズ縦書き400字詰め原稿用紙（各自で用意）5枚（1800字以上2000字以内）  
タイトル・氏名などは欄外に書き、1枚目の1行目から書き始めること。
- 提出期限・・・8月31日（火）始業式
- 提出先・・・HR担任
- 図書館の本は始業式まで借りられます。



2021年 課題図書

### 【第42回ロゴスの集い】 意見を皆の前で発表し、また聞くことを通して弁論の楽しさを知る

- 自分の体験をもとに、自分の考え・意見を明確にまとめたものであれば自由。社会的な問題点を取り入れること。
- 4～5分程度の発表になるように考えて原稿をまとめる。（およそ4枚程度）
- 弁論の原稿であることを考え、話がわかりやすく、聴く者を引きつけるように工夫する。
- 発表の練習もしてみよう。
- 原稿提出・・・8月31日（火）始業式
- 提出先・・・HR担任



### 【その他】

\*ビブリオバトル・・・静岡県大会9月26日（日）常葉大学静岡草薙キャンパスで開催！

読んで面白いと思った本をみんなに紹介するゲームです。皆さんも大好きな本を紹介してみませんか？

### 【公式ルール】

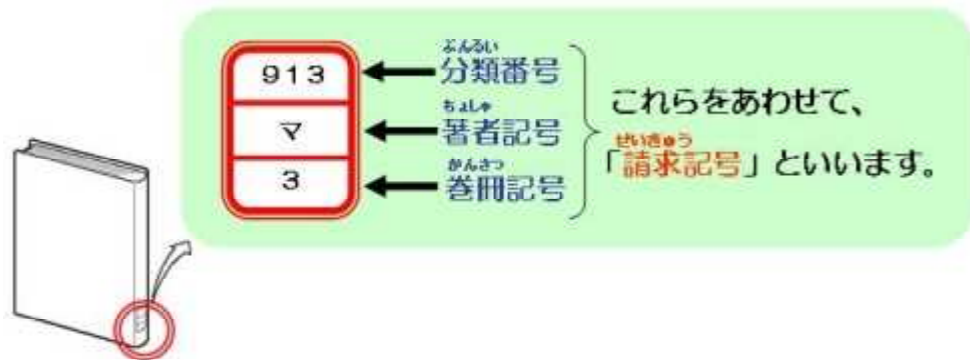
- 1.発表参加者が読んで面白いと思った本を持って集まる。
- 2.順番に一人5分間で本を紹介する。
- 3.それぞれの発表の後に参加者全員でその発表に関するディスカッションを2～3分行う。
- 4.全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員で行い、最多票を集めたものを『チャンプ本』とする。

申し込み締め切り9月3日（金）出場希望者は8月31日（火）までに図書館戸塚まで。



## \*袋井高校図書館での資料の探し方

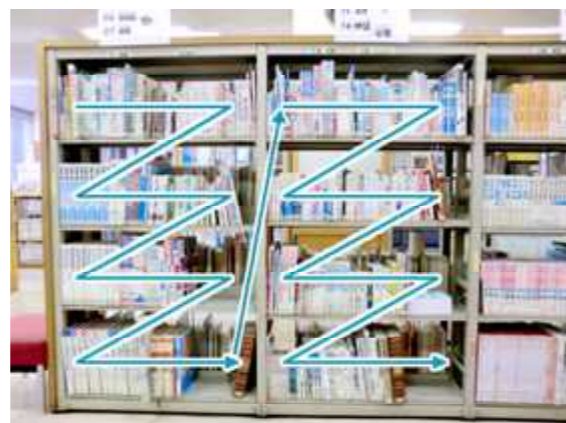
1. 書名・筆者名等がわかっている場合・・・図書館内のPCで検索  
\*詳細画面で請求記号と図書の状態  
(文庫・新書・ブックレットなど)を確認する。



\*請求記号をもとに書架を探してみよう

\*該当の書架で書籍を探す。  
文庫・新書・ブックレット・一般書籍の書架毎に日本十進分類法で配架されています。

【たとえば】



【書架の配列】

2. 言葉を調べたい・・・日本国語辞典・大漢和辞典・現代用語の基礎知識等の参考図書を利用
3. 様々な物事を調べたい・・・百科事典・理科年表・専門辞典(国歌大観・国史大事典)など
4. 静岡県のことを調べる・・・静岡大百科事典・日本地名大辞典静岡県・静岡県姓氏家計大辞典

図書館の西側の壁面には、様々なことを調べるための辞典・統計・年表類がまわっています。是非利用しましょう。

わからない場合は図書館の職員に気軽に聞いてください。

図書館の資料は基本的に下のような順番で配架されています。本を探す目安にしましょう。

日本図書館協会改訂・発行「日本十進分類法」新訂9版(1995)

<b>00 総記</b>	<b>50 技術・工学</b>
01 図書館・図書館学	51 建設工学・土木工学
02 図書・書誌学	52 建築学
03 百科事典	53 機械工学・原子力工学
04 一般論文集・一般講演集	54 電気工学・電子工学
05 逐次刊行物	55 海洋工学・船舶工学・兵器
06 団体	56 金属工学・鉱山工学
07 ジャーナリズム・新聞	57 化学工学
08 叢書・全集・選集	58 製造工学
09 貴重書・郷土資料・その他の特別コレクション	59 家政学・生活科学
<b>10 哲学</b>	<b>60 産業</b>
11 哲学各論	61 農業
12 東洋思想	62 園芸
13 西洋哲学	63 蚕糸業
14 心理学	64 畜産業・獣医学
15 倫理学・道徳	65 林業
16 宗教	66 水産業
17 神道	67 商業
18 仏教	68 運輸・交通
19 キリスト教	69 通信事業
<b>20 歴史</b>	<b>70 芸術・美術</b>
21 日本史	71 彫刻
22 アジア史・東洋史	72 絵画・書道
23 ヨーロッパ史・西洋史	73 版画
24 アフリカ史	74 写真・印刷
25 北アメリカ史	75 工芸
26 南アメリカ史	76 音楽・舞踊
27 オセアニア史・両極地方史	77 演劇・映画
28 伝記	78 スポーツ・体育
29 地理・地誌・紀行	79 諸芸・娯楽
<b>30 社会科学</b>	<b>80 言語</b>
31 政治	81 日本語
32 法律	82 中国語・その他の東洋の諸言語
33 経済	83 英語
34 財政	84 ドイツ語
35 統計	85 フランス語
36 社会	86 スペイン語
37 教育	87 イタリア語
38 風俗習慣・民俗学・民族学	88 ロシア語
39 国防・軍事	89 その他の諸言語
<b>40 自然科学</b>	<b>90 文学</b>
41 数学	91 日本文学
42 物理学	92 中国文学・その他の東洋文学
43 化学	93 英米文学
44 天文学・宇宙科学	94 ドイツ文学
45 地球科学・地学	95 フランス文学
46 生物科学・一般生物学	96 スペイン文学
47 植物学	97 イタリア文学
48 動物学	98 ロシア・ソヴィエト文学
49 医学・薬学	99 その他の諸文学

